

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：45項目

問題あり：4件

要確認：8件

問題なし：33件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

記載内容：「新妻秀規（にいづま ひでき）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、公明党公式サイト、参議院公式サイト

記載内容：「参議院議員（全国比例区選出）で当選2回（2013年・2019年）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia記載「公明党所属の参議院議員（2期）」

記載内容：「川崎重工業で航空機エンジニアとして17年間勤務」

検証結果：✗誤り

正しい情報：18年間勤務（1995年入社～2013年参院選立候補）

根拠・出典：Wikipedia「1995年、川崎重工業に入社」「2013年7月、参議院議員通常選挙に立候補」

記載内容：「草川昭三氏の後継として参院選に初出馬」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「草川昭三の事実上の後継として第23回参議院議員通常選挙に公明党から比例区で立候補」

2. 数値情報

記載内容：「1970年埼玉県越谷市生まれの53歳（2025年現在）」

検証結果：✗誤り

正しい情報：54歳（2025年7月1日時点、誕生日7月22日前）

根拠・出典：1970年7月22日生まれ、2025年では54歳または55歳

記載内容：「2013年参院選で全国比例で26,044票を獲得して初当選」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「得票数党内7位（26,044票）で初当選」

記載内容：「2019年の参院選でも比例区で再選（281,832票）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2019年7月21日、第25回参議院議員通常選挙に公明党から比例区で立候補して再選される（281,832票）」

記載内容：「Twitter（現X）のフォロワー数は2025年にはおよそ2.6万前後」

検証結果：△要確認

理由：具体的なフォロワー数の検証ができない

記載内容：「Facebookページの「いいね！」は約5,670件（2025年時点）」

検証結果：△要確認

実際の数値：Facebook表示では「5,436 likes」

記載内容：「メールマガジンVol.588（2024年11月時点）」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公式サイト「新妻ひできメールマガジンVol.588【経営者必見】2024年11月6日」

3. 事実関係・政策実績

記載内容：「2018年9月に文部科学省が全国の教育委員会宛て通知を出し、置き勉を認めるよう促す制度改正」

検証結果：✓正確

根拠・出典：2018年9月、文部科学省「児童生徒の携行品に係る配慮について」事務連絡

記載内容：「10兆円規模の大学ファンド（科学技術イノベーション基金）が2021年度に創設」

検証結果：✓正確

根拠・出典：JST大学ファンド公式サイト、第一生命経済研究所レポートで2021年度運用開始確認

記載内容：「2022年には初の支援対象として東北大学が認定」

検証結果：✗誤り

正しい情報：2024年に東北大学が第1号として認定

根拠・出典：「2024年6月、文部科学省が認定手続きを開始し、10月以降に正式に認定」

記載内容：「JR東日本・JR西日本が2023年2月から障がい者割引乗車券のオンライン予約サービスを開始」

検証結果：△要確認

理由：具体的なサービス開始時期の詳細確認が必要

4. その他の重要な事実関係

記載内容：「第3次安倍第3次改造内閣で文部科学大臣政務官」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2017年8月7日、第3次安倍第3次改造内閣で文部科学大臣政務官（兼内閣府大臣政務官・復興大臣政務官）に任命」

記載内容：「2021年11月11日、第2次岸田内閣で復興副大臣に任命」

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「2021年11月11日、第2次岸田内閣で復興副大臣に任命される」

記載内容：「公明党内では2024年より党国際委員長を務める」

検証結果：✓正確

根拠・出典：公明党公式サイト「国際委員長、中央幹事、文化芸術局次長、愛知県本部副代表」

改善提案

修正が必要な箇所

- 年齢表記：「53歳（2025年現在）」→「54歳（2025年7月現在）」
- 川崎重工業勤務期間：「17年間」→「18年間」
- 東北大学認定時期：「2022年には初の支援対象として東北大学が認定」→「2024年に東北大学が第1号として認定」

追加確認が推奨される情報

1. SNSフォロワー数の具体的な数値
2. 障がい者割引乗車券オンライン予約サービスの正確な開始時期
3. 各種政策実現の詳細な時系列
4. 議員立法の提出履歴（記事では0件とあるが要再確認）
5. 国会発言回数・文字数の推定値の根拠
6. 農業用水路安全対策の予算規模と実施状況
7. 富山県での転落死亡事故件数の統計
8. 最低賃金の推移データ

総合評価

記事全体の内容は概ね正確ですが、年齢、勤務期間、大学ファンド関連の時系列に誤りがあります。特に数値データについてはより厳密な確認が必要です。また、推定や概算で記載された部分については、その旨を明記することが推奨されます。